

大洲市学校施設長寿命化計画

令和3年1月
(令和8年3月一部改訂)

大洲市教育委員会
(教育総務課)

目 次

- 1 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等 1
- 2 学校施設の目指すべき姿 6
- 3 学校施設の実態と課題 7
- 4 学校施設の整備の基本的な方針 14
- 5 基本的な方針を踏まえた施設整備の考え方 15
- 6 長寿命化の実施計画 18
- 7 長寿命化計画の継続的運用 23

1 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

(1) 背景

国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」(2011年11月)に基づき地方公共団体は、中期的な取り組みの方向性及び整備の基本的な方針として「公共施設等総合管理計画」を策定し、個別施設ごとに具体的な対応方針を定めた長寿命化計画を2020年度までに策定するよう示された。

学校施設は、2015年3月に「文部科学省インフラ長寿命化計画(行動計画)」、4月に「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」が策定され、各学校施設の管理者は、2020年度までに学校施設の長寿命化計画を策定するよう求められている。

本市は、公共施設の現状と課題を整理した「大洲市公共施設等白書」(2016年1月)を踏まえて、「大洲市公共施設等総合管理計画」(2017年3月)を策定し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進に関する基本的な方向性を示すとともに、施設類型ごとの管理に関する基本的な方針を定めている。

※学校施設における基本的な方針の抜粋

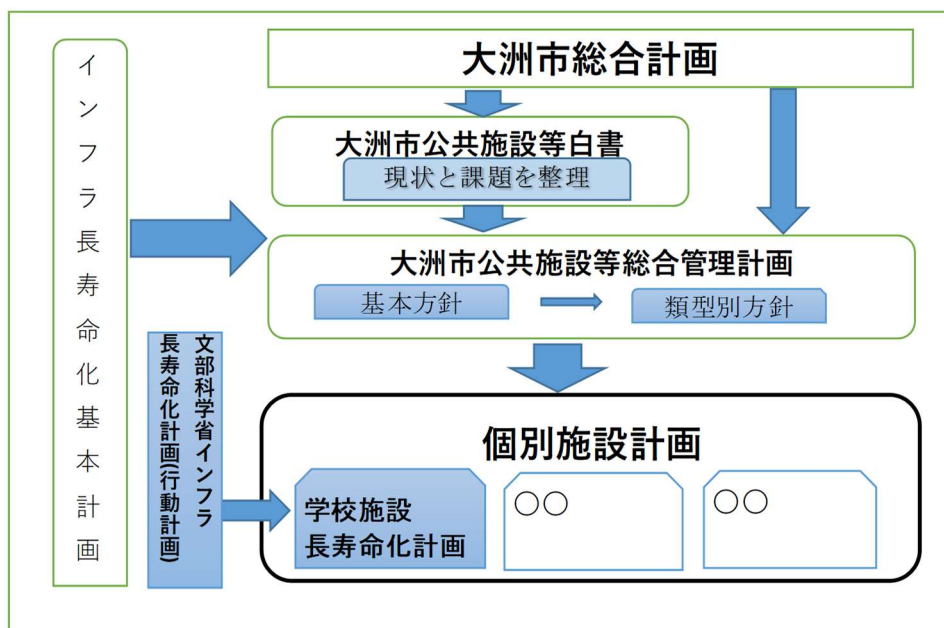
<小学校・中学校施設>

課 題	今後の少子化動向を踏まえたうえで、小中一貫校や他の施設との複合化など、コスト削減や教育の場としての機能の維持・向上に配慮が必要。
方 針	将来の児童生徒数の推移を踏まえながら、適正規模による施設整備を行うとともに、小中一貫校や他施設との複合化、余裕教室の有効活用、建物の減築などを検討する。

(2) 目的

学校施設の老朽化、設備の不具合等の問題と多様な学習形態に対応する施設環境の整備が求められる中で、従来の「改築中心・事後保全」から、機能や設備を良好な状態に保つことにより、施設の使用年数を延長する「長寿命化中心・予防保全」の考え方へ整備手法の転換を図り、財政負担の軽減と平準化を図ることを目的とする。

<計画関連図>



(3) 計画期間

本計画の計画期間は、大洲市総合計画や大洲市公共施設等総合管理計画との整合性を考慮して令和7年度に一部改訂し、令和8年度から令和12年度までの5年間とする。

なお、上位・関連計画の改定や計画の進捗状況、社会状況の変化等を踏まえて、適宜、計画の見直しを図る。

令和8年度(2025年度)～令和12年度(2030年度)

(4) 対象施設

本計画における対象施設は、令和7年4月現在、本市が保有している小学校及び中学校の学校施設（校舎・屋内運動場・プール）とする。

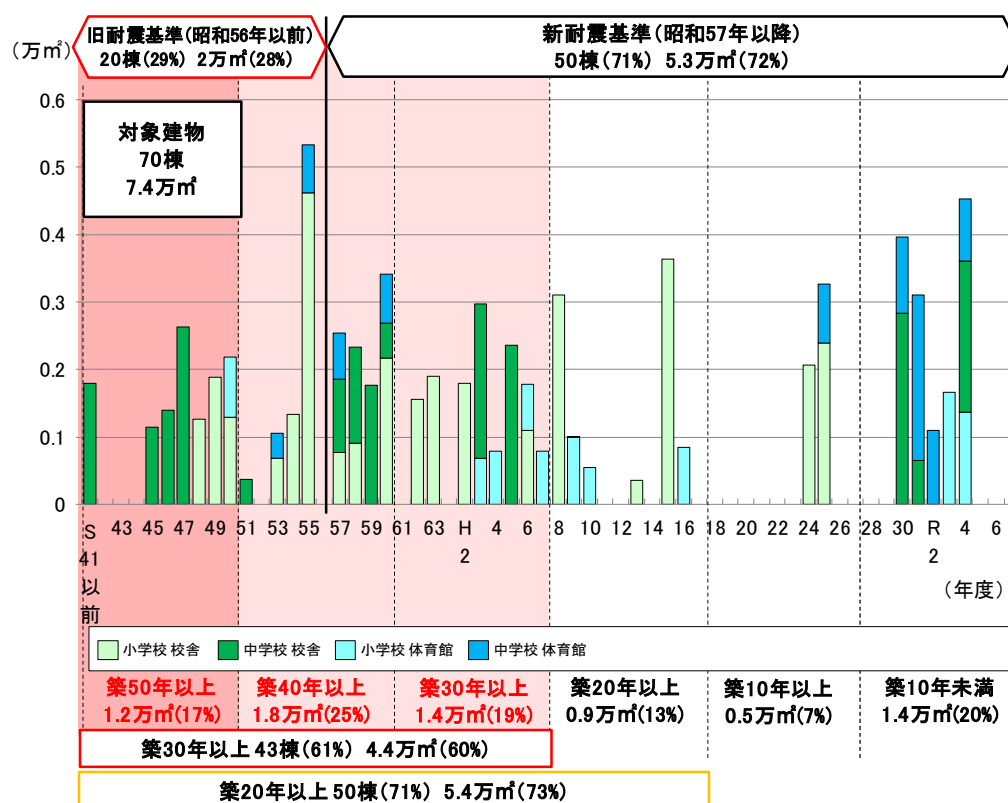
<対象施設>

対象施設	学校数	棟数	延床面積(m ²)	プール数	備考
小学校	12	41	42,763	12	
中学校	8	29	30,831	6	
合計	20	70	73,594	18	

※1 倉庫等（200㎡未満の建築物）は含まない

※2 プール数:平野中・肱川中は小学校兼用

築年別整備状況



(5) 施設概要

本計画の対象施設の概要は次のとおり。

① 小学校施設一覧

No.	施設名	建物名	用途	構造	階数	延床面積	建築年度
1	大洲小	校舎	校舎	RC	3	3,636	2003
2	大洲小	屋内運動場	体育館	RC	2	843	2004
3	喜多小	西校舎	校舎	RC	3	689	1978
4	喜多小	南校舎	校舎	RC	3	3,107	1996
5	喜多小	北校舎	校舎	RC	3	2,390	2013
6	喜多小	屋内運動場	体育館	S	1	899	1975
7	平小	北校舎①-1	校舎	RC	3	1,288	1975
8	平小	北校舎①-2	校舎	RC	2	180	1982
9	平小	西校舎④-1	校舎	RC	3	804	1979
10	平小	西校舎④-3	校舎	RC	3	599	1982
11	平小	屋内運動場	体育館	RC	4	1,368	2022
12	久米小	管理教室棟	校舎	RC	3	1,674	1985
13	久米小	校舎	校舎	RC	3	353	2001
14	久米小	屋内運動場	体育館	RC	1	790	1992
15	平野小	校舎⑨	校舎	RC	3	1,135	1973
16	平野小	校舎⑩	校舎	RC	3	130	1973
17	平野小	教室棟	校舎	RC	3	530	1979
18	平野小	屋内運動場	体育館	RC	1	680	1994
19	菅田小	管理教室棟	校舎	RC	4	1,881	1974
20	菅田小	校舎	校舎	RC	3	489	1985
21	菅田小	屋内運動場	体育館	RC	1	790	1995
22	新谷小	特別教室棟	校舎	RC	2	910	1983
23	新谷小	普通教室棟⑪-1	校舎	W	2	175	2012
24	新谷小	普通教室棟⑪-2	校舎	RC	2	182	2012
25	新谷小	普通教室棟⑪-3	校舎	W	2	823	2012
26	新谷小	普通教室棟⑪-4	校舎	RC	2	334	2012
27	新谷小	普通教室棟⑪-5	校舎	W	2	454	2012
28	新谷小	図書室棟	校舎	W	1	97	2012
29	新谷小	屋内運動場	体育館	RC	1	680	1982
30	三善小	管理教室棟	校舎	RC	3	1,566	1987
31	三善小	屋内運動場	体育館	RC	1	680	1991
32	粟津小	管理普通教室棟	校舎	RC	2	881	1980
33	粟津小	特別教室棟	校舎	RC	2	1,100	1994
34	粟津小	屋内運動場	体育館	RC	2	818	2021
35	長浜小	校舎	校舎	RC	4	3,734	1980
36	長浜小	屋内運動場	体育館	RC	2	844	2021
37	肱川小	校舎	校舎	RC	3	1,898	1988
38	肱川小	屋内運動場	体育館	S	2	989	1997
39	河辺小	校舎⑬	校舎	RC	3	1,624	1990
40	河辺小	校舎⑭	校舎	RC	2	176	1990
41	河辺小	屋内運動場	体育館	RC	2	543	1998
	12学校	41棟		小学校計		42,763	

② 中学校施設一覽

No.	施設名	建物名	用途	構造	階数	延床面積	建築年度
1	大洲南中	校舎棟①	校舎	RC	3	1,794	1960
2	大洲南中	管理棟②	校舎	RC	2	374	1970
3	大洲南中	管理棟②-2	校舎	RC	2	210	1970
4	大洲南中	特別教室棟	校舎	RC	2	564	1970
5	大洲南中	校舎⑦	校舎	RC	3	375	1976
6	大洲南中	屋内運動場	体育館	RC	2	1,138	2018
7	大洲北中	普通教室棟①-1	校舎	RC	3	1,389	1971
8	大洲北中	普通教室棟①-2	校舎	RC	3	527	1985
9	大洲北中	特別教室棟	校舎	RC	3	1,612	1972
10	大洲北中	管理棟	校舎	RC	2	1,020	1972
11	大洲北中	技術教室棟	校舎	S	2	655	2019
12	大洲北中	屋内運動場	体育館	RC	2	1,500	2019
13	平野中	校舎	校舎	RC	3	1,769	1984
14	平野中	屋内運動場	体育館	RC	1	720	1985
15	肱東中	屋内運動場	体育館	RC	1	720	1980
16	肱東中	管理教室棟	校舎	RC	3	1,423	1983
17	肱東中	特別教室棟	校舎	RC	3	1,013	1993
18	新谷中	屋内運動場	体育館	RC	2	1,092	2020
19	新谷中	校舎⑬	校舎	RC	3	2,293	1991
20	新谷中	校舎⑬-2	校舎	RC	1	28	1997
21	大洲東中	普通教室棟	校舎	RC	3	1,076	1982
22	大洲東中	特別教室棟	校舎	RC	3	1,343	1993
23	大洲東中	屋内運動場	体育館	W	1	881	2013
24	長浜中	校舎	校舎	RC	4	2,835	2018
25	長浜中	武道場	体育館	RC	1	364	1978
26	長浜中	屋内運動場	体育館	RC	1	947	2019
27	肱川中	校舎棟	校舎	RC	4	1,497	2022
28	肱川中	屋内運動場	体育館	RC	2	928	2022
29	肱川中	管理棟	校舎	RC	2	744	2022
	7学校	29棟		中学校計		30,831	

③ 学校プール一覧

No.	学校名	施設	プール槽	コース数	建築年	経過年数
1	大洲小学校	プール	FRP	7コース	1969	56
		補助プール	FRP	—	1969	56
2	喜多小学校	プール	FRP	7コース	1995	30
		補助プール	FRP	—	1995	30
3	平小学校	プール	FRP	5コース	1975	50
4	久米小学校	プール	FRP	5コース	1984	41
		小プール	FRP	—	1984	41
5	平野小学校	プール	FRP	5コース	1994	31
		補助プール	FRP	—	1994	31
6	菅田小学校	プール	FRP	5コース	1974	51
7	新谷小学校	プール	FRP	5コース	1981	44
8	三善小学校	プール	コンクリート	5コース	1970	55
9	栗津小学校	プール	FRP	5コース	1973	52
10	長浜小学校	プール	FRP	7コース	1981	44
		補助プール	FRP	—	1981	44
11	肱川小学校	プール	FRP	6コース	2008	17
		補助プール	FRP	—	2008	17
12	河辺小学校	プール	FRP	4コース	1979	46
12施設						
1	大洲南中学校	プール	FRP	7コース	1970	55
2	大洲北中学校	プール	FRP	7コース	1972	53
3	新谷中学校	プール	FRP	7コース	1965	60
4	肱東中学校	プール	FRP	6コース	1970	55
5	大洲東中学校	プール	FRP	7コース	1972	53
6	長浜中学校	プール	FRP	7コース	1970	55
		小プール	FRP	—	1970	55
—	平野中学校	小学校兼用	—	—	—	—
—	肱川中学校	プールなし(小学校利用)	—	—	—	—
6施設						
18施設						

2 学校施設の目指すべき姿

本計画の対象施設の目指すべき姿は、「学校施設整備基本構想の在り方について」（学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議：平成25年3月）を参考にし、本市の実情に合わせて、次の3つの視点で示すこととする。

（1）教育環境の整備

- ①学習能率の向上に資する快適な学習環境の整備
- ②児童生徒が愛着と誇りの持てる環境の整備
- ③教職員等の負担軽減などに配慮した環境の整備
- ④時代に応じたICT環境の整備

- ・子供一人一人に応じた指導方法の工夫や改善を通し、確かな学力の向上に努める。
- ・今後の情報化の進展に対応できるようICT環境の整備を図る。

（2）施設の安全性の確保

- ①地震、津波、水害等の災害に強い学校施設
- ②防災機能を備えた学校施設
- ③防犯機能を備えた安全で安心な学校施設

- ・耐震対策、経年劣化による部材の落下防止対策、水道・電気・ガス設備の安全対策整備に努める。
- ・不審者侵入の予防など防犯性を備えた安心感のある施設環境を形成するよう努める。

（3）地域連携の充実

- ①伝統文化や行事の継承など地域と連携した学校施設
- ②災害時の避難所の機能を備えた学校施設
- ③学校、保護者、地域が協力して運営する学校施設

- ・地域の人々との出会いや地域の歴史・自然の学びから郷土を愛する心を育てる。
- ・バリアフリー化、体育館空調の整備など避難所としての機能向上に努める。

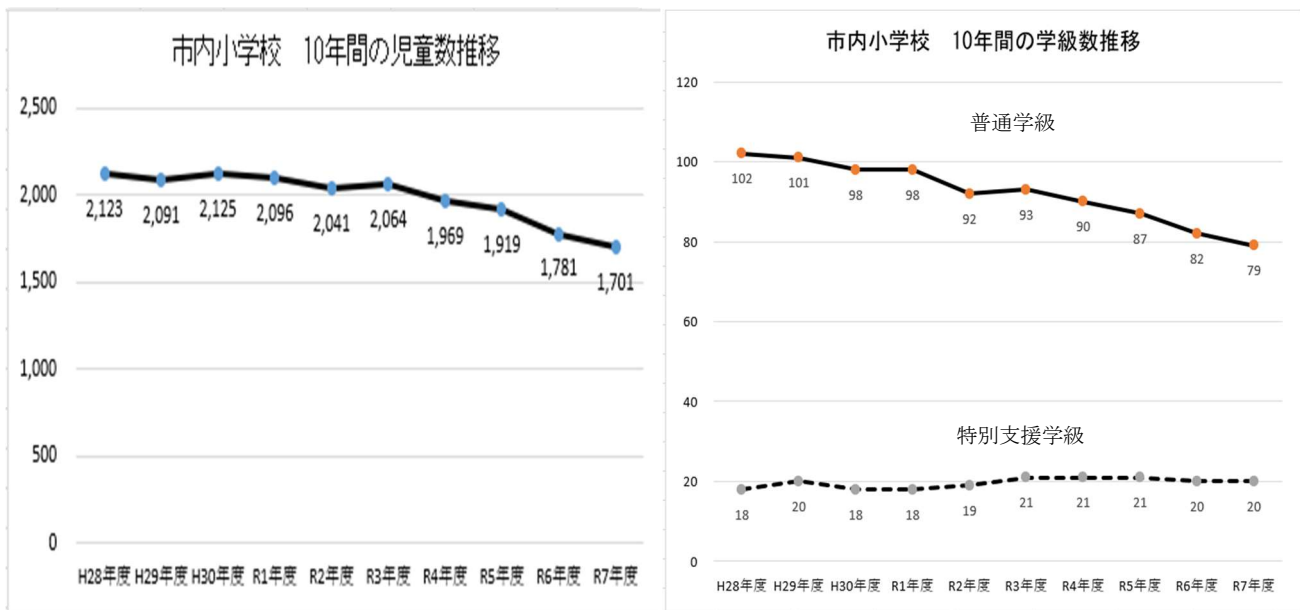
3 学校施設の実態と課題

(1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

① 小学校の状況

(各年5月1日現在)

学校名	項目	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
大洲小	児童数	295	285	283	280	252	261	248	246	243	228	
	学級数	12	12	12	12	11	11	10	10	10	9	
	特支数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
喜多小	児童数	559	571	556	539	529	531	523	499	466	460	
	学級数	19	19	18	18	18	18	18	18	17	17	
	特支数	2	2	2	3	4	4	4	4	4	3	
平小	児童数	259	239	239	230	225	243	231	230	206	215	
	学級数	12	11	10	10	9	10	10	9	8	8	
	特支数	2	1	2	2	2	3	3	3	2	2	
久米小	児童数	150	142	141	138	134	138	126	135	128	119	
	学級数	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	
	特支数	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	
平野小	児童数	70	70	71	78	83	75	72	66	69	64	
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	5	
	特支数	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	
南久米小	児童数	大洲小学校に統合										
	学級数	大洲小学校に統合										
	特支数	大洲小学校に統合										
菅田小	児童数	181	178	186	193	180	179	164	165	155	144	
	学級数	6	6	7	7	7	8	6	6	6	6	
	特支数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	
大成小	児童数	菅田小学校に統合										
	学級数	菅田小学校に統合										
	特支数	菅田小学校に統合										
蔵川小	児童数	菅田小学校に統合										
	学級数	菅田小学校に統合										
	特支数	菅田小学校に統合										
新谷小	児童数	206	209	211	218	218	210	190	182	170	159	
	学級数	8	9	9	9	9	8	6	6	6	6	
	特支数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
三善小	児童数	33	31	41	35	34	35	32	32	25	23	
	学級数	5	5	5	5	3	4	4	3	3	3	
	特支数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
栗津小	児童数	67	65	77	72	68	80	74	75	68	62	
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	特支数	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
上須戒小	児童数	喜多小学校に統合										
	学級数	喜多小学校に統合										
	特支数	喜多小学校に統合										
白滝小	児童数	13	10	長浜小学校に統合								
	学級数	3	2	長浜小学校に統合								
	特支数	0	0	長浜小学校に統合								
柴小	児童数	長浜小学校に統合										
	学級数	長浜小学校に統合										
	特支数	長浜小学校に統合										
大和小	児童数	長浜小学校に統合										
	学級数	長浜小学校に統合										
	特支数	長浜小学校に統合										
豊茂小	児童数	長浜小学校に統合										
	学級数	長浜小学校に統合										
	特支数	長浜小学校に統合										
櫛生小	児童数	長浜小学校に統合										
	学級数	長浜小学校に統合										
	特支数	長浜小学校に統合										
長浜小	児童数	194	200	221	220	224	220	224	214	185	166	
	学級数	9	9	9	9	9	8	10	10	7	7	
	特支数	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
中野小 (肱川小)	児童数	80	82	89	84	87	88	81	71	63	59	
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	5	5	5	
	特支数	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
正山小	児童数	肱川小学校に統合										
	学級数	肱川小学校に統合										
	特支数	肱川小学校に統合										
大谷小	児童数	肱川小学校に統合										
	学級数	肱川小学校に統合										
	特支数	肱川小学校に統合										
予子林小	児童数	肱川小学校に統合										
	学級数	肱川小学校に統合										
	特支数	肱川小学校に統合										
河辺小	児童数	16	9	10	9	7	4	4	4	3	2	
	学級数	3	3	3	3	2	2	2	2	2	1	
	特支数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	児童数	2,123	2,091	2,125	2,096	2,041	2,064	1,969	1,919	1,781	1,701	
	学級数	102	101	98	98	92	93	90	87	82	79	
	特支数	18	20	18	18	19	21	21	21	20	20	



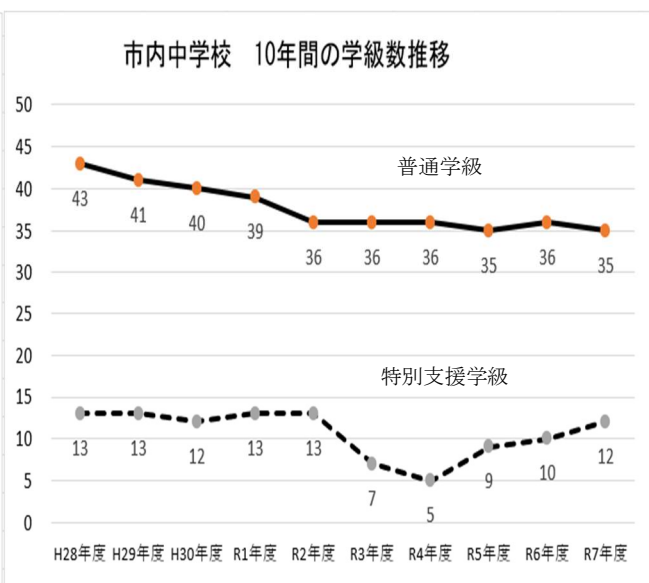
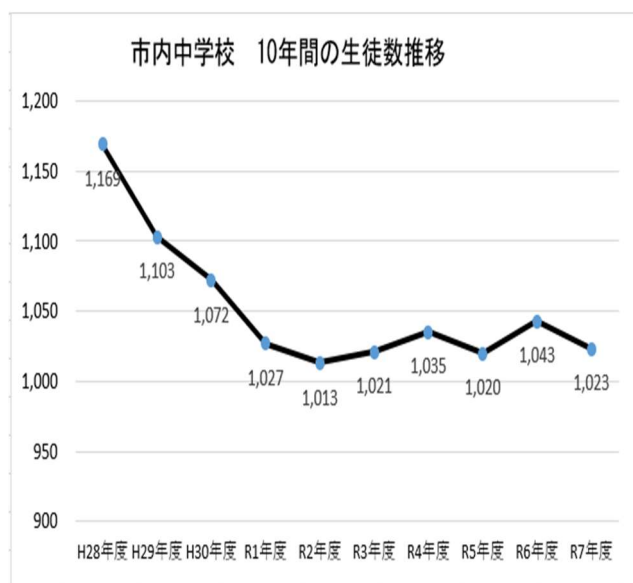
市内小学校は、少子化の影響による児童数の減少に伴い、小規模化が進行し複式学級編制を余儀なくされる学校が増加するなどの問題を抱えていたことから、平成 20 年 6 月に策定した「大洲市小学校統廃合計画」に基づき課題解消に向けて統廃合を進めてきた。

しかし、市内小学校は、この 10 年間で児童数は約 420 人減少しており、学級数も減少傾向であることから、今後は、さらなる児童数の減少に伴い転用可能教室等の有効活用や児童数にあった適正規模による改築等の検討が必要となってきている。

② 中学校の状況

(各年5月1日現在)

学校名	項目	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
大洲東中	生徒数	61	53	47	53	47	51	43	47	61	62	
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	特支数	1	1	1	2	2	1	0	0	1	1	
大洲南中	生徒数	211	219	213	198	203	198	215	193	187	188	
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	特支数	2	2	3	3	3	1	1	1	1	1	
平野中	生徒数	48	37	31	41	35	44	38	43	37	39	
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	特支数	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	
肱東中	生徒数	110	104	90	85	89	89	97	91	93	94	
	学級数	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	
	特支数	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2	
新谷中	生徒数	97	93	98	86	83	93	104	111	107	105	
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	特支数	1	1	1	2	1	0	0	2	2	2	
大洲北中	生徒数	449	403	411	411	415	405	392	379	390	369	
	学級数	13	11	12	12	12	12	12	11	11	10	
	特支数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	
長浜中	生徒数	134	134	132	106	104	99	102	108	117	118	
	学級数	5	5	4	3	3	3	3	3	4	4	
	特支数	2	2	2	2	2	0	1	1	1	1	
肱川中	生徒数	48	49	41	38	37	42	44	48	51	48	
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	特支数	1	1	0	0	1	1	0	2	2	2	
河辺中	生徒数	11	11	9	9	休校					肱川中学校に統合	
	学級数	3	3	3	3							
	特支数	1	1	1	0							
合計	生徒数	1,169	1,103	1,072	1,027	1,013	1,021	1,035	1,020	1,043	1,023	
	学級数	43	41	40	39	36	36	36	35	36	35	
	特支数	13	13	12	13	13	7	5	9	10	12	



市内中学校は、この10年間で生徒数は約140人減少しており、学級数も減少傾向である。

現在のところ複式学級編制となっている中学校はないが、令和6年度には河辺中学校が閉校となったほか、1学年10人程度の学校が3校あり、今後さらなる生徒数の減少に伴い、教育活動に支障がでてくることが懸念されている。

③ 学校プールの状況

<プール利用状況>

R6 年調査

No.	学校名	プール利用期間			一般開放期間		
		利用開始	利用終了	日数	利用開始	利用終了	日数
1	大洲小学校	6月2日	7月18日	46日	7月22日	8月4日	13日
2	喜多小学校	6月3日	7月23日	50日	7月24日	8月23日	30日
3	平小学校	6月3日	8月8日	66日	7月24日	8月8日	15日
4	久米小学校	民間委託	民間委託	—	—	—	—
5	平野小学校	6月3日	7月19日	46日	7月25日	8月9日	15日
6	菅田小学校	6月17日	7月17日	30日	—	—	—
7	新谷小学校	6月3日	7月21日	48日	7月22日	8月9日	18日
8	三善小学校	6月25日	7月18日	23日	7月24日	8月22日	29日
9	栗津小学校	6月3日	7月18日	45日	7月23日	8月7日	15日
10	長浜小学校	6月17日	7月19日	32日	7月24日	8月9日	16日
11	肱川小学校	6月3日	7月19日	46日	7月24日	8月6日	13日
12	河辺小学校	6月20日	7月19日	29日	7月23日	8月9日	17日
小学校施設平均				42日			18日
1	大洲南中学校	6月6日	7月18日	42日	—	—	—
2	大洲北中学校	5月10日	10月14日	157日	—	—	—
3	新谷中学校	7月2日	7月25日	23日	—	—	—
4	肱東中学校	6月16日	7月18日	32日	—	—	—
5	大洲東中学校	民間委託	民間委託	—	—	—	—
6	長浜中学校	6月30日	7月19日	19日	—	—	—
—	平野中学校	6月12日	7月12日	30日	—	—	—
—	肱川中学校	7月5日	7月8日	3日	—	—	—
中学校施設平均				44日			0日

※肱川小学校:夏休み期間中は、肱川地域市民プールとして利用有 (R6 年度末現在)

※大洲北中学校:水泳部活動有

学校プールの利用期間は、小学校が平均 42 日、中学校が平均 44 日であり、その内水泳授業による利用状況は、小中学校とも期間中の 30 日程度である。

夏休み期間中のプール開放は、全体的に小学校が平均 18 日開放、中学校は開放していない状況であり、児童生徒数の減少やプール監視を担う P T A の負担増加がありプール開放日数は減少傾向にある。また、喜多小学校では水泳のスポーツ少年団の活用があり、肱川小学校は令和 6 年度まで肱川地域の市民プールとしての活用があった。

中学校の部活動による利用は、水泳部がある大洲北中学校において約 150 日間の利用があるが、そのほかの学校については利用がなかった。

全般的に学校プールの利用は、建設当時と比べて児童生徒数の減少や市民プール・民間運営のプールが市内外で整備されてきたことから減少傾向にある。

ただし、小学校は、水泳記録会に向けて水泳練習の利用が多く残っている。

＜水泳学習状況の変化＞

水泳学習において、以前は「より速く」「より長く」泳ぐことや水泳検定・記録会を実施することが求められてきたが、昨今では「発達段階に応じた技能の習得」や「水難事故防止」を目的として行われるように変化してきている。

また、水泳学習の教育現場では、特に小学校において体育や水泳指導を専門としていない教員の水泳指導やプールの水質管理など、教員数が減少している中で教員への負担が増大している状況にある。

さらには、近年の異常な自然現象のひとつである猛暑（酷暑）の中、屋外での水泳学習は熱中症や水難事故のリスクを抱えることとなり、複数教員の指導体制など教員への負担となっている。

＜プール維持管理＞

小中学校プールの水道代や消毒用薬剤などの維持管理経費は年間約 800 万円、プールの修繕費やポンプ修繕費などの経費は年間約 1,100 万円必要であり、1 施設当たり 105 万円の経費が毎年必要となっている。

また、築 40 年以上経過しているプールが 15 施設あり、老朽化が著しく、更衣室等の爆裂補修、プール槽の塗装剥離補修やポンプの更新などが必要となっている状況である。

(2) 各施設の老朽化状況の実態

① 学校の校舎及び屋内運動場の状況

築40年以上経過している施設は、小学校施設16棟(39.0%)、中学校施設15棟(51.7%)であり、そのうち大規模改修工事を行っていない施設(棟)は、9棟あるが、耐震性に問題はない施設である。

また、築50年以上経過している施設のうち、大洲南中学校校舎は過去に大規模改修を行っているものの20年以上経過している棟もあることから、市内学校施設において最初に長寿命化改修を実施している。(令和6年度～令和7年度に実施)

<小学校施設>

築年数	棟数	構成比	延床面積	構成比
10年未満	3	7.3%	3,030㎡	7.1%
10年～20年未満	7	17.1%	4,455㎡	10.4%
20年～30年未満	6	14.6%	9,471㎡	22.1%
30年～40年未満	9	22.0%	9,304㎡	21.8%
40年～50年未満	11	26.8%	11,170㎡	26.1%
50年～60年未満	5	12.2%	5,333㎡	12.5%
60年以上	0	0.0%	0㎡	0.0%
合計	41	100.0%	42,763㎡	100.0%

※ 倉庫・プール施設は含まない

<中学校施設>

築年数	棟数	構成比	延床面積	構成比
10年未満	9	31.0%	11,336㎡	36.8%
10年～20年未満	1	3.4%	881㎡	2.9%
20年～30年未満	1	3.4%	28㎡	0.1%
30年～40年未満	3	10.3%	4,649㎡	15.1%
40年～50年未満	8	27.6%	6,974㎡	22.6%
50年～60年未満	6	20.7%	5,169㎡	16.8%
60年以上	1	3.4%	1,794㎡	5.8%
合計	29	100.0%	30,831㎡	100.0%

※ 倉庫・プール施設は含まない

② 学校プールの状況

特に中学校は全6校、小学校は9校のプールが築40年以上経過しており、大規模改造及び改築（更新）時期を迎えている。

プール施設の老朽化に伴う更新は、水泳学習状況の変化、小中学校の立地状況、児童生徒数の状況やプールの利用状況を踏まえて、民間プールの利用やプールの共同利用等を実施し、事業費の縮減に努める。

築年数	<小学校施設>		<中学校施設>	
	プール数	構成比	プール数	構成比
10年未満	0	0.0%	0	0.0%
10年～20年未満	1	8.3%	0	0.0%
20年～30年未満	0	0.0%	0	0.0%
30年～40年未満	2	16.7%	0	0.0%
40年～50年未満	4	33.3%	0	0.0%
50年～60年未満	5	41.7%	5	83.3%
60年以上	0	0.0%	1	16.7%
合計	12	100.0%	6	100.0%

※ 平野小と平野中、肱川小と肱川中は小学校プール利用

4 学校施設の整備の基本的な方針

学校施設の目指すべき姿の実現に向けて、学校を取り巻く状況、児童生徒数及び学級数の変化、学校施設の保有数など運営状況等を把握し、3つの基本方針を定める。

(1) 施設の長寿命化

現在の「耐用年数＝改築」という考え方から施設の状況に応じて「使用年数延長＝大規模改修」の視点により、改築時期の分散を図る。

また、安全安心な教育環境を確保するため、「事後保全」から「予防保全」による改修を計画的に実施する。

(2) 必要な機能の整備

社会情勢や気象状況の変化により求められる良好な教育環境の確保、ICT教育環境の整備、バリアフリー化、教育システムの拡充及び防災機能の充実などに応じるための機能の整備を図る。

(3) 施設規模の適正化

現在、小学校4校において複式学級の編制がされており、将来の更なる児童生徒数の減少を見込み、施設規模の適正化を図る。

学校プールにおいても、児童生徒数の推移、使用頻度等を考慮し、民間委託・共同利用等による適正な配置及び規模の検討を行う。

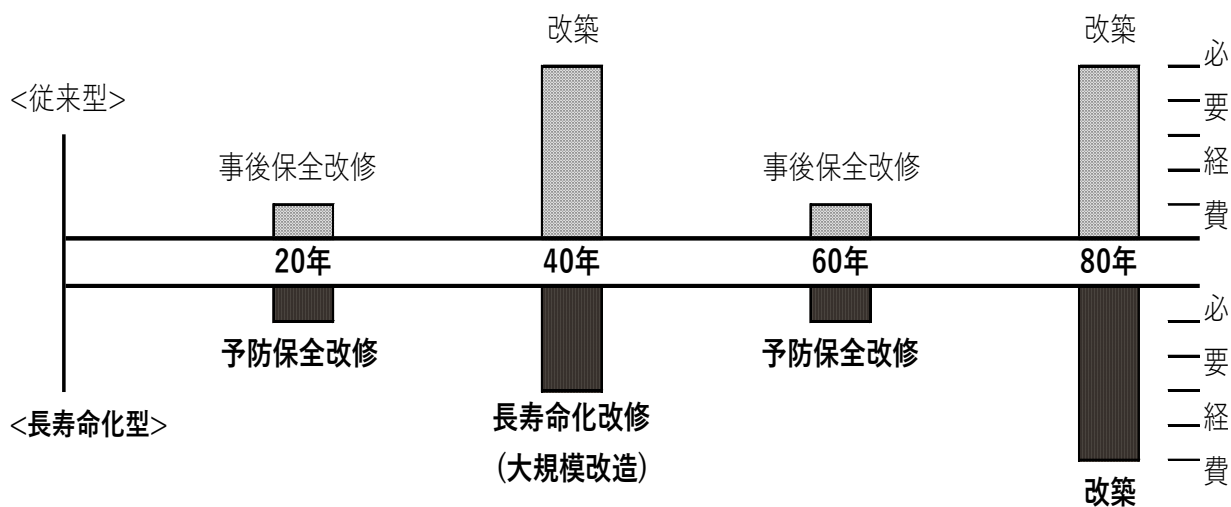
5 基本的な方針を踏まえた施設整備の考え方

(1) 長寿命化の考え方

- ① 建物の改築時期を原則築80年とする。
- ② 長寿命化改修時期を原則築40年とする。
- ③ 予防保全改修の標準的周期を原則築20年と築60年とする。

※学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き(文部科学省 H27.4)抜粋
鉄筋コンクリート造の学校施設の法定耐用年数は、47年となっているが、これは税務上、減価償却を算定するためのものである。物理的な耐用年数はこれより長く、適切な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には70年～80年程度持たせるような長寿命化が可能である。

<長寿命化イメージ>



予防保全改修
<ul style="list-style-type: none"> ・屋根防水張替え ・エコ機器更新 ・空調機器更新 ・必要箇所改修など

長寿命化改修
<ul style="list-style-type: none"> ・外壁塗装 ・屋根防水張替え ・トイレ改修 ・鉄筋等腐食対策 ・学習内容への対応 ・設備機器の更新など

予防保全改修
<ul style="list-style-type: none"> ・屋根防水張替え ・エコ機器更新 ・空調機器更新 ・必要箇所改修など

(2) 改修等の整備水準

構造躯体の耐久性向上や老朽化対策として、次の項目を主に調査し改修を行うことを基本とする。

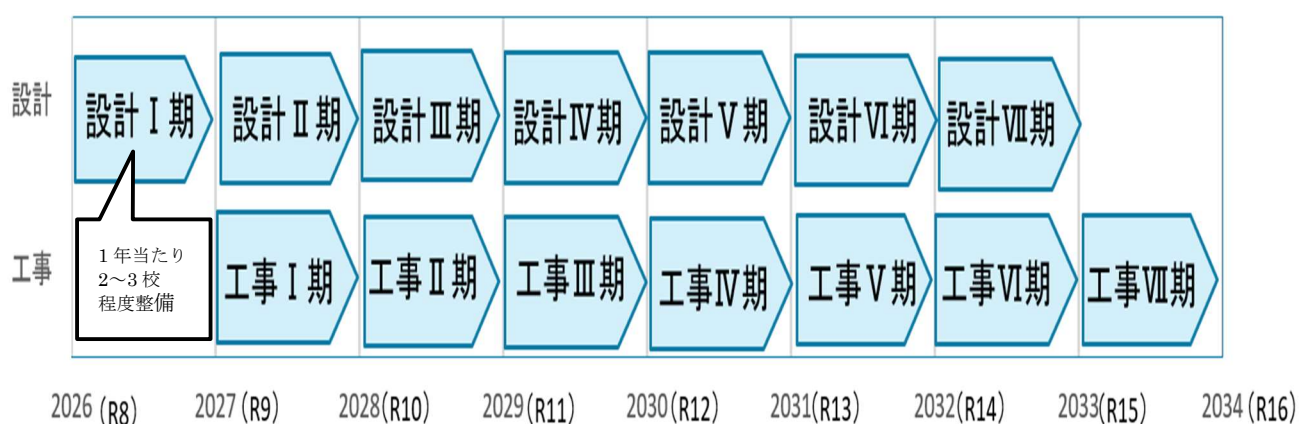
整備項目	予防保全改修	長寿命化改修
外壁塗装	△	○
屋根防水シート張替え	○	○
エコ機器設備更新	○	○
空調機器更新	○	○
鉄筋等腐食対策	△	○
トイレ改修	—	○
室内床、天井、建具等改修	△	△
新学習内容の対応	—	○
バリアフリー化改修	—	△
その他設備機器等の更新	—	○
その他必要箇所等の改修	△	○

○：基本的に改修 △：必要に応じて改修

(3) 学習環境の向上及び防災機能の充実（体育館空調の整備）

学校施設は、子供たちの学習・生活の場であり、非常災害時には地域住民の避難所等としての役割を果たすことから、近年の気候変動の影響による平均気温の上昇や災害の激甚化・頻発化を踏まえ、児童生徒の熱中症を予防し、快適に過ごせる学習環境を維持するとともに、避難所としての防災機能を強化するため市内の小中学校の体育館に空調設備の整備を実施する。

整備期間は工事費用の平準化を図るため、8年間（設計7期・工事7期）とし、空調方式や断熱工法等の整備手法については専門業者の意見を参考としながら効率的かつ効果的な整備となるよう検討する。



(4) 適正規模の考え方

本市は、「大洲市小学校統廃合計画（平成 20 年度策定）」に基づき、統廃合を進めてきた。この計画による統廃合は、平成 26 年度末に上須戒小学校が喜多小学校に統合したことで、計画前の校数 28 校から 14 校となり完了したが、その後、地域の状況の変化があり地元要望を受け、大和小学校及び白滝小学校がそれぞれ長浜小学校に統合した。（14 校→12 校）

また、中学校は、合併後間もないことを考慮し、小中学校ともに旧市町村単位に 1 校は残す考え方の元に、統廃合は実施していない。

このように本市は、学校規模の適正化を計画的に実施しているが、令和 6 年度には河辺中学校が閉校となるなど、急速な少子化に伴い、更なる児童生徒数の減少が予想されており、適正規模の基準を維持することが困難な状態にある。

一方できめ細かな指導の充実など、小規模校でも様々なメリットがあることから、ICT を活用し、デメリットを最小化させる取り組みを推進することにより、学校教育の質の維持向上を図るとともに地域の実情や改築経費などを勘案した上で、統廃合を検討する必要がある。

学校プールについては、令和 6 年度に「水泳授業委託事業」の実証実験を実施し、水泳記録会の練習（小学校）や民間施設までの距離により実施が困難な学校があったものの、アンケートやヒアリングにより維持管理の費用や教職員の業務負担を軽減できることに加え、安全性を確保した上で質の高い水泳授業を行うことができることが確認されたため、令和 7 年度から大洲小学校（1～2 年生）、肱東中学校及び大洲東中学校にて民間委託を導入している。

また、複数校間における学校プールの共同利用については、既に平野小中学校及び肱川小中学校で実施しており、生徒の学校間の移動に支障がなく、水泳授業の時間数を確保できると見込まれる新谷小中学校及び長浜小中学校についても、令和 8 年度から実施を検討する。なお、安全管理上、小学校のプールを中学生が利用する方式とする。

今後においても「水泳学習や教育現場の状況」「プールの利用状況や児童生徒数の推移」「プール施設の老朽化」などを鑑み、時代の流れに合った施設の配置や規模の適正化となるよう努める。また、民間委託や共同利用の実施により使用しなくなった学校プールは、改修を行わないこととし、コストの縮減を図る。

【現状】 20 学校 18 プール  【民間委託・共同利用後】 20 学校 14 プール

使用を取り止めるプール（肱東中・新谷中・大洲東中・長浜中）

6 長寿命化の実施計画

(1) 改修等の実施計画

- ① 学校施設（校舎・屋内運動場）の改修等は、5(1)「長寿命化の考え方」に基づき、原則「改築工事は築 80 年」「長寿命化改修工事は築 40 年」「予防保全改修工事は築 20 年と 60 年」を目安とする。

学校施設の長寿命化及び予防保全改修工事は、各棟の改修時期を目途に施設の構造躯体の耐久性の向上や老朽化対策を目的として 5(2)「改修等の整備水準」に掲げる項目について、建築士等の専門家による事前調査を行う。

この事前調査の結果を踏まえて、学校施設の整備内容や時期など必要性・優先順位等を検討するとともに、市の財政状況を考慮し、負担軽減や平準化等に努めることとする。

- ② 学校プールの改修等は、校舎・屋内運動場と同様に 5(1)の「長寿命化の考え方」に基づき、原則「改築工事は築 80 年」「長寿命化改修工事及びポンプ更新工事は築 40 年」「プール槽改修工事は 20 年間隔」を目安とする。

また、水泳授業を民間に委託した学校の既設プール及び共同利用にて使用を取り止めたプールは、施設改修を行わないこととし、コストの縮減を図る。

学校プールは、現状維持を目的として、長寿命化の改修時期を目途に専門家による調査等を行い、適切な改修に努める。

なお、維持管理の軽減対策（プール槽のステンレス素材使用）についても検討する。

《長寿命化計画の推進方法》

改修等の時期(目安)	築 80 年・・・改築 築 40 年・・・長寿命化改修 築 20 年、60 年・・・予防保全改修
↓	
事前調査の実施	建築士等の専門家による調査 改修等の整備項目に沿って老朽度等の調査を行い、整備方法の検討や概算経費の試算を行う。
↓	
改修内容や時期の設定	改修の必要性の検討(事前調査の結果による) 優先順位の検討(複数校ある場合) 財源の確保の検討(交付金等の申請)

(2) 長寿命化のコストの見通しと効果

① 校舎及び屋内運動場

計画期間において、校舎及び屋内運動場の施設整備に係る経費（改修費・改築費）は、従来型の施設整備における経費と長寿命化型の施設整備における経費（文科省提供ソフトにおける試算）を比較すると、従来型が約 359 億円に対し、長寿命化型は約 273 億円となり、40 年間で約 86 億円の削減が見込まれる。

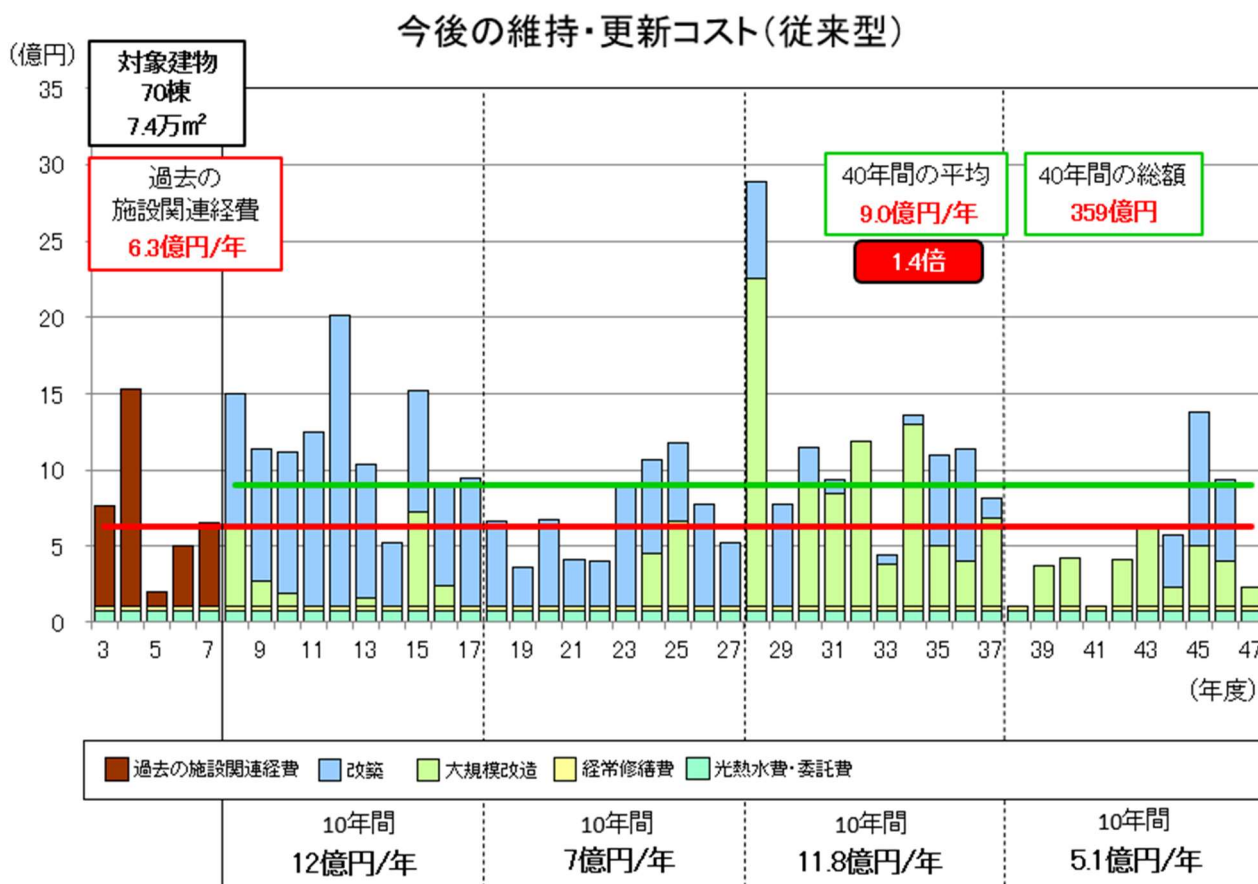
今後、長寿命化における大規模改修や予防保全改修に取り組むとともに、財政負担の平準化に努め、順次計画的に改修に取り組むこととしている。

<事業費算定条件>

種別	事業費/m ²	備考
改築工事	33.0万円/m ²	市公共施設等総合管理計画単価
大規模改造工事	17.0万円/m ²	市公共施設等総合管理計画単価
長寿命化改修工事	19.8万円/m ²	改築工事の60%
予防保全改修工事	1.9万円/m ²	長寿命化改修工事の10%
■施設規模		現在の保有面積で試算する

<<従来型>>

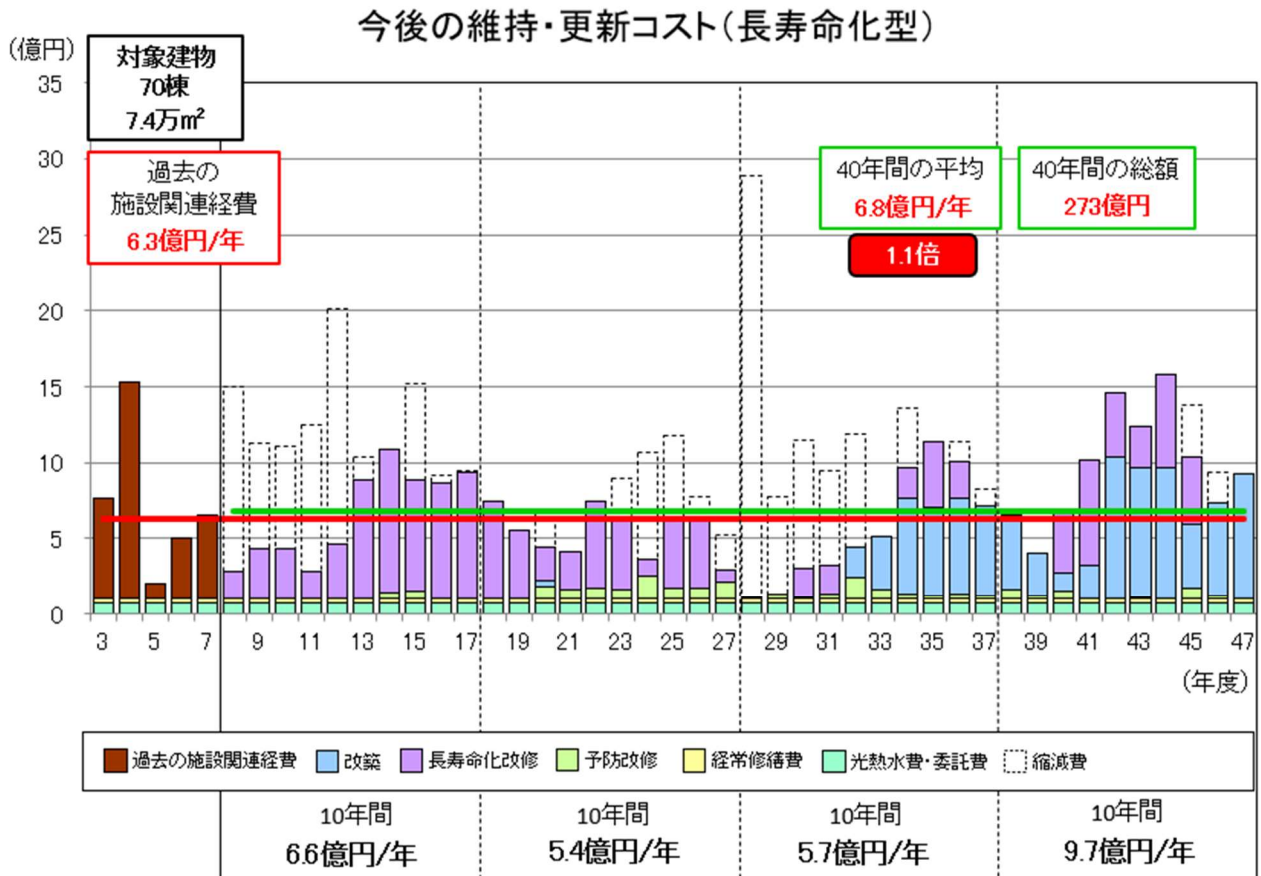
[基本] ○築30年：大規模改造 ○築50年以上：改築]



※本試算は、文科省提供ソフトによる試算であり、実際のコストとは異なります。

《長寿命化型》

【基本】○築 20・60 年：予防保全改修 ○築 40 年：長寿命化改修 ○築 80 年：改築]



※本試算は、文科省提供ソフトによる試算であり、実際のコストとは異なります。

◆長寿命化計画における効果（校舎及び屋内運動場）

(単位：百万円)

年度	R8～R17	R18～R27	R28～R37	R38～R47	計
従来型の試算	11,980	6,950	11,820	5,140	35,890
長寿命化型の試算	6,570	5,400	5,630	9,710	27,310
長寿命化計画の効果	5,410	1,550	6,190	-4,570	8,580

② 学校プール

学校プールに係る経費(改修費・維持管理経費)を比較すると、従来型の場合が約33億円に対し、長寿命化型は約19億円であり、20年間で約14億円の削減が見込まれる。

今後、当面の間は長寿命化型の施設整備により安全・安心な施設管理を維持していくこととしているが、学校プールの改築時期においては、適正な規模や配置についての検討を行うこととする。

その際には、「水泳学習や教育現場の状況」「プールの利用状況や児童生徒数の推移」を鑑み、近隣小中学校における学校プール施設の共同利用や水泳学習の民間委託などの検討を行い財政負担の軽減に努める。

<事業費算定条件>

■改築・改修経費は、一般的な学校プール1基当たりに必要な経費(概算)

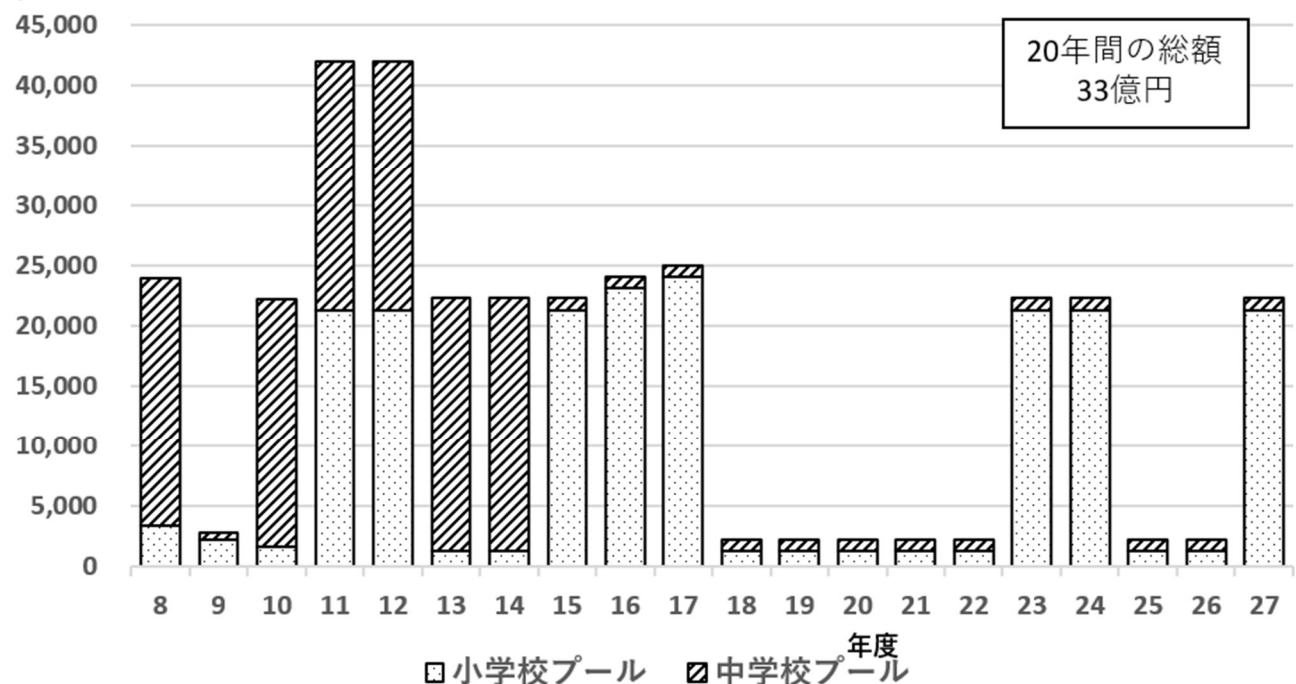
プール槽改修工事	600万円	(プール槽塗装のみ改修)
ポンプ改修工事	900万円	(ポンプ設備更新)
プール長寿命化改修工事	10,000万円	(プール槽以外も含む)
プール改築(更新)工事	20,000万円	(5コース整備プール想定)
※補助プール・小プール槽の改修経費は、1/2とする。		
※改修時にはプール槽の素材をステンレスにすることを検討する。		
※民間委託・共同利用を行う学校は、改築・改修経費を計上しない。		

《従来型：築60年で改築(更新)する場合》

【基本】 ○築20・40年：プール槽改修 ○築40年：ポンプ改修 ○築60年：改築

今後の維持・更新コスト(従来型)

単位：万円

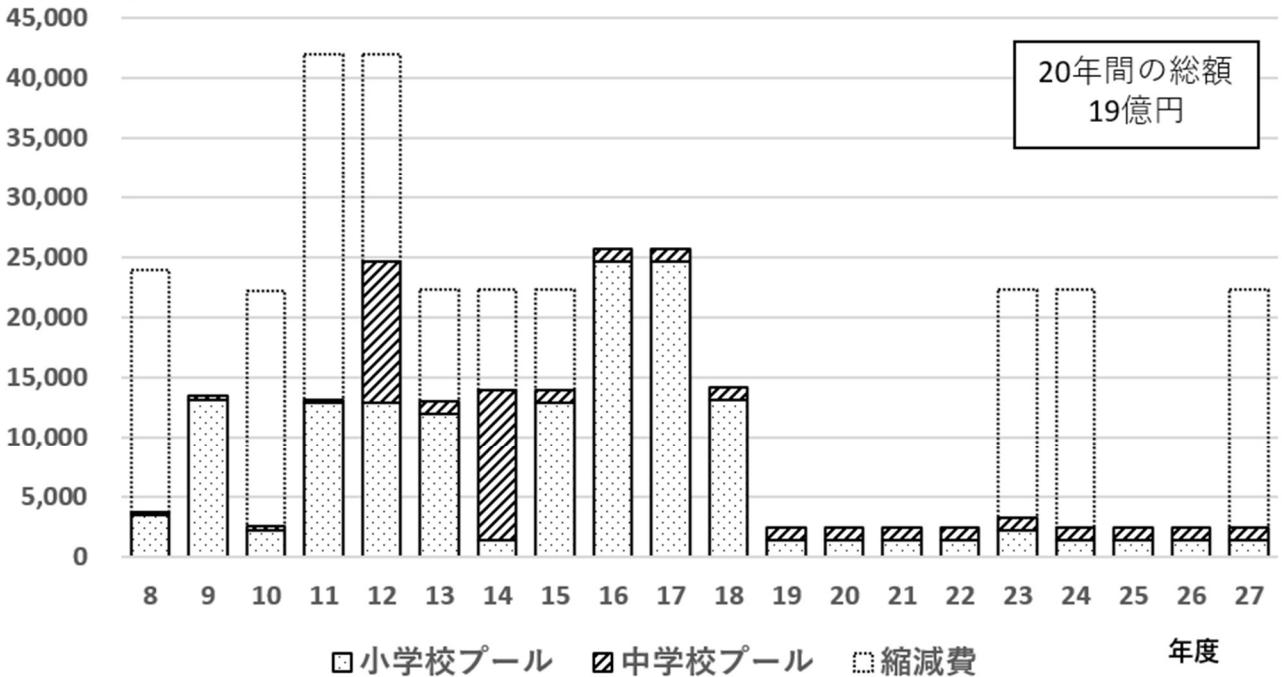


《長寿命化型：築80年で改築（更新）とする場合》

【基本】○築20・40・60年：プール槽改修 ○築40年：プール長寿命化改修・ポンプ改修
○築80年：プール改築 ○民間委託、共同利用によるプール廃止

今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

単位：万円



◆長寿命化計画における効果（学校プール分）

(単位：百万円)					
年度	R8～R12	R13～R17	R18～R22	R23～R27	計
従来型の試算	1,328	1,159	114	714	3,315
長寿命化型の試算	577	924	240	131	1,872
長寿命化計画の効果	751	235	-126	583	1,443

7 長寿命化計画の継続的運用

(1) 実施計画の運用

安全で安心な学校施設を維持しながら長寿命化を推進するためには、予防保全改修を計画的に着実に実施していくことが大切である。

また、日常的な施設状況を把握し、適宜修繕を行うとともに、劣化状況の把握に努めていくことが必要である。

今後は、施設や設備の状況などの情報をもとに、大洲市公共施設等総合管理計画における基礎情報としても活用するなど、本計画の適切な見直しを行うこととする。

(2) 推進体制等の整備

学校施設の適切な維持・管理のため、日常的な点検・調査を学校と連携して行うとともに、消防設備などの点検・報告を活用して適切な維持管理に努める。

また、大規模改造や改築など多額の経費が必要となることから、他の施設との複合化の検討など、より有効活用ができるように関連部署と協力し推進する。

(3) フォローアップ

本計画は、学校施設等の改修や改築の順位を設定し、標準的な見込額を算出している。

今後、事業の進捗状況、定期的・法定的な点検から得られる老朽化に関する状況・評価などの結果に加え、社会情勢（少子化等）や財政面を踏まえたうえで、本計画を適宜見直し、実施年度までに事業費等を精査し、事業を進めることとする。